

平成31年4月発行

# 広尾っ子応援団だより (No.4)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話01558-2-0181



## 応援団員から子どもたちへの応援メッセージ

広尾っ子応援団本部では、より多くの、より幅広い層の方々の参画を得て、子どもの成長を地域で担えるようにするため、広尾っ子応援団登録制度をスタートさせました。

応援団に登録していただいた方には、心に残った広尾町の子どもたちの姿をメッセージにしてCSコーディネーターまで届けていただくことをお願いしています。

これまで届いた3通のメッセージを掲載します。

「CS」はコミュニティ・スクール  
(Community School)の略です。

### 【平成31年2月8日に届いたメッセージ、町内、20代、男性】

2018年7月某日、午後6時過ぎに私が食事に行こうと丸山通を歩いていると、部活帰りと思われる中学生の一人に「こんばんは」とあいさつをされました。あいさつをされるとは思っていなかったので、こちらが中途半端なあいさつをしてしまったほどです。

学校外での出来事で、かつ面識があったわけでもないですが・・・、今度は私からあいさつをしようと思いました。

### 【平成31年3月12日に届いたメッセージ、町内 70代、女性】

3月8日（金）「孫の家にお友達がいっぱい来たよ。」

用事があって娘の家に行ったところ、玄関の靴が揃えてあった。??

「おやまあ、えらいな」と思い帰って来た。

夕方5時ごろ2回目に行ったら、中から孫の友達がそろそろ出てきた。男女8人位かな? 「帰るの? 受験ごくろうさんだったね。」と声をかけると思い思いにニコニコしながら帰っていった。

家の中に入ってびっくりした。

普通並みにきれいだった。どうしたのと聞いたら「友達が来るので掃除したという」まあいいこと、と思いテーブルの上にある残りのおやつチョコを1つもらった。

別の袋は何か・・・と思い開けたらプラゴミだった。

あらまあゴミの分別までやっていたの、えらい!!

感激しました。わが広尾町の子ども達はよその家に遊びに行って「たつ鳥後を濁さず」ってところかな。

あたりまえのことかも知れないが、私は嬉しかった。広尾中の3年の皆さんでした。

ご卒業おめでとうございます。

広尾在住 バーバラより

## 【平成31年4月4日に届いたメッセージ、町内、80代、女性】

きのう（4月3日）、「るる」で買いものをした帰り道のことです。

私は心そうが弱く、買い物ぶくろをもって歩くのがやっとで、つかまるところをさがしながら歩いていると、すれちがった小学生たちが、たてつづけに3人も声をかけてくれました。

「おはようございます！」

「おばあちゃん、だいじょうぶ？」

「家までいっしょに行こうか？」

1人は2年生くらいの女の子、もう1人は5年生くらいの男の子、もう1人は高校生くらいかな。

私は、「だいじょうぶよ」と答えましたが、どの子も、私が帰るのを心ばいそうに見まもってくれていました。

声をかけてくれたことが、うれしくて、うれしくて・・・。

だれかに話さずにはいられませんでした。

ほんとうにありがとう。



## コミュニティ・スクールへの協力は「できること」

広尾っ子応援団に登録を希望される方はCSコーディネーター（教育委員会社会教育課：電話01558-2-0181）にご連絡ください。

### （登録要件）

1. 「応援団本部からCSの情報」を受けとることができる方。
2. CSに、可能な範囲で「協力」できる方。
3. 「応援メッセージ」を年1回程度届けることができる方。

広尾っ子応援団が一番大切にしていることは、より多くの、より幅広い層の人たちに子どもの育ちに関心をもっていただくことです。ですから、2番目にある「CSに、可能な範囲で「協力」できる方」というのは、文字通りそれぞれの方のその時の状況で「できること」です。決して、義務的なものではありません。

応援メッセージの「年1回」にしてもおよその目安と考えて下さい。

### 今後の学校運営協議会の予定

- ◆ 広尾小学校5月 8日（水）19：00 広尾小学校図書室
  - ◆ 豊似小学校5月15日（水）19：00 豊似小学校会議室
  - ◆ 広尾中学校5月16日（木）19：00 広尾中学校会議室
1. 議題「重点教育目標を達成するための学校経営計画」
  2. 熟議「地域・家庭の方策」